





あの地獄のような
出来事から解放されて
しばらく経った

もうこんな目に遭うのは
何回目になるか覚えてない
……いや、記憶してたくない

こんなことが何回か経験あるからって
慣れる気はまったくしない

解放されて日常に戻っても
体に叩き込まれた「非日常」は
なかなか心を日常に戻してくれないから



そしてこういうことがあるたびに
地獄を味わわされるたびに
今まで思い出さないようにしてた
地獄が奥底から呼び覚まされて

僕の心を永遠に逃がさない

あの一番最悪な形の快樂が
僕をずっと縛り付けている

そう……
そんな最悪な快樂
一刻も早く忘れたい

じゃ……

僕には必要ない……

必要ないはずなのに……
たまたま僕の体はおかしくなる

怖くて最悪なはずなのに
快楽を求めて勝手に動くことがある

その時の僕は体に残った快楽のせいで
心までおかしくなってるんだと思う

僕はそうやって……
地獄を味わうたびに
そこから抜け出せなくなっていく
自分のこととても怖く
なっていてる







